



国際バカロレア(IB)の中等教育プログラム(MYP)の影響に関する主な研究結果

国際バカロレア (IB) のグローバルリサーチ部門は、世界各地の大学や独立研究機関との協力の下、厳密な調査を実施し、IBが提供している4つのプログラムの影響と成果を検証しています。本資料では、IBの依頼で実施された、中等教育プログラム (MYP: Middle Years Programme) に関する調査研究の主な結果をご紹介します。これらの研究では、MYPにおいて養われるスキル、プログラムがもたらす学問以外の成果、MYPの生徒の学習到達度など、多数の成果が明らかになりました。

トルコで行われた研究では、MYPの実施状況、および生徒、教師、学校に対してプログラムがもたらす成果を検証しました。この研究の結果、教師はMYPを通して自分のスキルを研鑽し、新しく革新的な技法を自分の指導の実践に取り入れることができたことがわかりました。これは、指導経験の長い教師にもいえることでした。また、MYPが生徒の学習到達度の支えとなることも示唆されました。トルコの全国試験の結果、8年生のMYPの生徒の42%が全国上位4%に入っています(Ateşkan, Dulun and Lane 2016)。

米国の大規模な学区で行われた研究では、MYPへの参加が高校進学と学習到達度に及ぼす影響を調査しました。傾向スコアマッチングと呼ばれる統計学の手法を使用して、MYPを履修した生徒の高校での成果を、人口統計学的に類似したMYP以外の生徒と比較しました。その結果、MYPの生徒はそれ以外の生徒に比べ、高校在学中にアドバンスト・プレイスメント(AP)またはディプロマプログラム(DP)の試験を受験する確率が34%高いことがわかりました。また、MYPを履修したことで、大学準備試験で「大学進学に適格」とされるスコアを少なくとも1回取得する確率が大幅に(39%)高まりました(Wade and Wolanin 2015)。

	MYP 実施校 出身の生徒		MYP以外の 学校 出身の生徒		MYPの効果	
	N	補正済み 中央値	N	補正済み 中央値	中央値の 差	p
APまたはDP 試験の受験 者数	597	5.77	556	4.50	1.27	
APまたは DP試験における「大学進 学適格」スコ ア取得数	597	4.23	556	3.44	0.79	

表1:APまたはDPの試験の受験者数の補正済み中央値²と「大学進学 適格」スコアの取得数の補正済み中央値

イギリスの研究では、MYP、全国統一試験制度

(GCSE: General Certificate of Secondary Education)、国際統一試験制度(IGCSE: International General Certificate of

Secondary Education)を対象としたカリキュラム比較を行いました。その結果、カリキュラムの学習内容はおおむね類似しているものの、MYPはカリキュラムに高い柔軟性があり、より学際的な性質をもっていると結論づけられました。また、MYPの生徒は、MYP以外の生徒と比べ、国際的な視野、市民性、グローバルな認識といった学問以外の人物像において、全体的に高く評価されました(Sizmur and Cunningham 2013)。

オーストラリアでは、さまざまな手法を組み合わせた研究で、多岐にわたる尺度と測定法を用いてMYPの生徒の社会的・情緒的・心理的な幸福感を評価しました。その結果、MYPの生徒の半分以上($54\sim55\%$)が「健やか」とされ、60.1%が将来に希望をもっている、52.4%が「かなり」または「常に」前向きな気持ちをもっていることがわかりました。生徒の満足度の測定では、MYPの生徒のほとんどが学校に対して幸福感(約70%)と満足感(約80%)を抱いていると回答しました(Skrzypiec、Askell-Williams, Slee and Rudzinski 2014)。

世界各地で実施された大規模な研究では、その第1段階として、MYPの教師 (n = 4,488)、コーディネーター (n = 435)、生徒 (n = 486) がMYPの「ネクストチャプター」の実施と影響をどのように認識しているかを調べました。

MYPネクストチャプターのカリキュラム変更に対する反応はおおむね肯定的であったものの、一部の教師とコーディネーターからは、この変更を完全に実施できる自信がないとの回答もみられました。変更を早く実施した学校ほど、この変更に対する自信と支持の度合いが高いことがわかりました。また、一般に実施状況が時間とともに改善することも示唆されています(Azzam et al. 2017)。

中国、香港、インド、インドネシア、日本で行われた研究では、 中等教育をMYPで修了した生徒、国や公的な教育課程で修 了した生徒、および他の国際的なプログラムで修了した生徒に ついて、DPにおける成果を比較しました。その結果、MYPを 履修した生徒は、それ以外の生徒と比べ、DPでの合計スコア が著しく高く(表2)、また「言語と文学」「言語の習得」「個人

詳細については、research@ibo.orgにお問合せいただくか、www.ibo.org/researchをご覧ください。

[「]この研究では、AP試験で3点以上、またはDP試験で4点以上のスコアを「大学進学に適格」と定義しています

² 生徒の人口統計的な変数に合わせて補正済み



国際バカロレア (IB) の中等教育プログラム (MYP) の

影響に関する主な研究結果

と社会」「数学」の科目試験においても、はるかに高い成績をあげていました。MYPの生徒はまた、MYP以外の生徒と比較して、批判的思考スキルや分析スキルといった高次の思考スキルをより高い頻度で使用していることがわかりました(ACER 2015)。

プログラムの種類	N	中央値(試験合計点)	p
MYP	408	32.64	0.00
その他	115	30.47	

表2:中等教育の種類別に見たDPの最終スコアの中央値と有意性検 定

イギリスで実施された研究では、6校から抽出したMYPの生徒とそれ以外の生徒のサンプルを基に、視野の広さが検証されました。さまざまな手法を組み合わせた調査の結果、IBの生徒と教師は、視野の広さについての理解がより発達している傾向にあることが示されました。また、調査データの分析では、MYP実施校の生徒であることと、文化の違いに対する視野の広さの間に、有意な関係が見られました(Stevenson, Thomson and Fox 2014)。

スペインの研究では、スペインのカリキュラムである中東義務教育 (ESO: Educación Secundaria Obligatoria) とMYPとを比較しました。その結果、MYPの概念に基づく学習のアプローチ、「IBの学習者像」、より包括的な評価制度の導入が、ESOを大幅に強化することが明らかになりました。また、この研究では、スペインの私立校8校におけるMYPの影響も考察しています。総論として、MYPが、リサーチスキルや批判的思考スキルといった生徒の能力の発達や、学校全体の指導と学習の向上など、校内における幅広い成果の支えとなったことが生徒、教師、管理職から報告されました (Valle, Menéndez, Manso, Garrido and Thoilliez 2017)。

別の研究では、アラブ首長国連邦のMYPの実施状況について 調査が行われました。その結果、全体としてプログラムの満足 度が高いことがわかりました。学校のリーダー、教師、生徒、 保護者からは、プログラムの枠組みが柔軟であること、現地の 状況に合わせて調整できること、国際的な視野を強調していることなどが主なメリットとして挙げられました。また、MYPを現地のカリキュラムの要件と統合させながら、統一感のある学校文化を育んでいくことが、学校にとっての主要課題のひとつであることが明らかになりました。このような統一感のある校内環境は、教師と学校のリーダーが積極的に創出し、維持していかなければならないものであると研究者は示唆しています(Stevenson et al. 2017)。



参考文献

Australian Council for Educational Research (ACER). 2015. The International Baccalaureate (IB) Middle Years Programme (MYP): Comparing IB Diploma Programme outcomes of students who complete the MYP and other middle years courses of study. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Ateşkan, A, Dulun, Ö and Lane, JF. 2016. Middle Years Programme (MYP) implementation in Turkey. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Azzam, T, Mason, S, Rykaczewska, A, Swope, M, Mansfield, M and Fayles, C. 2017. A study of the implementation and impact of the Middle Years Programme (MYP): Next chapter. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Sizmur, J and Cunningham, R. 2013. International Baccalaureate Middle Years Programme (MYP) in the UK. Slough, Berkshire, UK. NFER.

Skrzypiec, G, Askell-Williams, H, Slee, P and Rudzinski, A. 2014. *International Baccalaureate Middle Years Programme: Student social-emotional well-being and school success practices.* Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Stevenson, H, Shah, S, Bailey, L, Cooker, L, Winchip, E and Karak, M. 2017. The International Baccalaureate Middle Years Programme (MYP) implementation in the United Arab Emirates. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Stevenson, H, Thomson, P and Fox, S. 2014. Implementation practices and student outcomes associated with the learner profile attribute "open-minded". Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization

Valle, JM, Menéndez, M, Manso, J, Garrido, R and Thoilliez, B. 2017. Research summary of "Implementation and outcomes of the International Baccalaureate Middle Years Programme (MYP) in Spanish schools". Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

Wade, JH and Wolanin, NL. 2015. A comparison of MYP and non-MYP students' participation and performance in high school. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.

